

高設砂耕栽培を足掛かりに農業の新しいビジネスモデルを探求

農地所有適格法人 株式会社和創 奈良県奈良市

■農家の課題解決に寄与すべく異業種参入

株式会社和創（代表取締役：西野光泰氏）は、建設、不動産等を営む株式会社アクティブエナジーが農地等への太陽光パネル設置事業を行う中、農家の高齢化や後継者不足、農業の衰退、耕作放棄地の拡大といった社会課題に直面したことをきっかけに、農家が安定した農業を営めるよう新しいビジネスモデルを提供できないかと、2014年に設立された。

現在、高齢化により廃業を検討していた農家の農地を借り受けて農作物の生産販売を行うほか、貸し農園事業、ソーラーシェアリング（農業とソーラーシステムの共存）、営農代行など、農家の課題解決に寄与すべく様々な取り組みを行っている。

■高設砂耕栽培により安定供給を実現

同社は試行錯誤を繰り返し、安定的に収益を確保できる農業を模索してきた結果、レタスの砂耕栽培に活路を見出した。レタスは苗を植えてから収穫まで30～50日程度と短期間であることが特徴。また、砂耕栽培は土の代わりに砂を使い、灌水チューブで定期的に液肥を供給する栽培手法で、連作障害がおきにくく同じ場所で繰り返し作物を栽培することができる。

同社では3,000㎡の広大なハウス内で年間8回の連作を行い、毎日、収穫・出荷・苗の植付けを行っている。現在、4名の従業員が交代で毎日作業を行っているが、腰の高さほどの台（ベッド）で栽培する高設式を採用しているため、腰をかがめる必要がなく身体への負担は少ない。一定の品質が保たれたレタスは、毎日、奈良県や大阪府下のスーパー、飲食店等に安定供給されている。

また、毎日の仕事が定まった安全な作業の繰り返しであることから、同社では障がい者への就労機会の提供も可能と考え、「農福連携」の実現も

視野に入れ、同モデルを展開していく方針。

■手軽に自然や農業に触れられる貸し農園

同社は農地の一部を使って貸し農園「とれとれ農園」も行っている。1区画9～15㎡の農地で自由に作物を栽培することができ、農機具や水道の使用料も含め、1㎡あたり月額250円で利用可能。トイレやシャワー、バーベキュー用のコンロ、ピザ窯も完備しており、手ぶらで訪れ、栽培や収穫を楽しみ、採れたて野菜を味わうことができる。毎日畑の様子を見るのを楽しみにしているシニア、週末にバーベキューを楽しむ子連れ家族など、農園での過ごし方は様々。

また、同農園で試行的に農業にチャレンジした後、本格的に新規就農を果たしたイタリア野菜の生産者もいるなど、土や自然、農業に関心を持つ人と農業をつなぐ窓口となっている。

同社には現在も農地活用に悩む農家からの相談が多数持ち掛けられており、さらなる栽培手法の研究や担い手の確保等、持続可能な農業のビジネスモデル確立に向け、今後も長期的に取り組む方針である。

（前田 徹）



「とれとれ農園」の案内板（上）、レタスの砂耕栽培（右上）、ピザ窯（右下）

農地所有適格法人 株式会社和創

〒631-0052 奈良県奈良市中町 4207

TEL: 0742-48-4188 FAX: 0742-44-4188

URL: <http://oyasai-nara-wasou.co.jp/>